

山城地域振興計画(中間案)から最終案への修正点(新旧対照表)

資料4

番号	意見	意見に対する府の考え方	最終案 修正箇所	中間案の記載	最終案の記載
			頁		
1	<p>3 施策の基本方向 基本的な視点 施策推進に当たっての留意点</p> <p>■人づくり・絆づくり</p> <p>○学生、若者の地域社会への参加促進、ファンを増やす地域愛を高める仕掛けづくり</p>	<p>「ファンを増やす」を「地域愛を高める」に修正します。</p>	4	<p>3 施策の基本方向 基本的な視点 施策推進に当たっての留意点</p> <p>■人づくり・絆づくり</p> <p>○学生、若者の地域社会への参加促進、ファンを増やす仕掛けづくり</p>	<p>3 施策の基本方向 基本的な視点 施策推進に当たっての留意点</p> <p>■人づくり・絆づくり</p> <p>○学生、若者の地域社会への参加促進、<u>地域愛を高める仕掛けづくり</u></p>
2	<p>3 施策の基本方向 基本的な視点 施策推進に当たっての留意点</p> <p>■山城ブランド・京都ブランドの活用</p> <p>○世界水準を誇る京都・学研の研究機関や企業との連携・交流によるイノベーション創出</p>	<p>「世界水準の」を「世界水準を誇る」に修正します。</p>	4	<p>3 施策の基本方向 基本的な視点 施策推進に当たっての留意点</p> <p>■山城ブランド・京都ブランドの活用</p> <p>○世界水準の京都・学研の研究機関や企業との連携・交流によるイノベーション創出</p>	<p>3 施策の基本方向 基本的な視点 施策推進に当たっての留意点</p> <p>■山城ブランド・京都ブランドの活用</p> <p>○世界水準を誇る京都・学研の研究機関や企業との連携・交流によるイノベーション創出</p>
3	<p>■関連公共インフラ整備の推進 「○新たなまちづくりの進展に伴う汚水量に対応するため、木津川流域下水道洛南浄化センターにおいて、新たな水処理施設を増設します。」を追記できないか。</p> <p>本町の新市街地整備について、府基本計画16頁に明記され、山城計画においても、11頁に「その推進を支援」することとなっている。</p> <p>現在、洛南浄化センターの処理量は余裕がなく、本町のまちづくりを実現するためには、その機能強化をしていただくことが必須である。</p> <p>同様の状況となっている、「①木津川右岸」や「②けいはんな学研都市」には上記記載がある。</p> <p>本町では、前年度から京都府に対し同様の趣旨で要望をしているところ。</p>	<p>整合を図るため、「○新たなまちづくりの進展に伴う汚水量に対応するため、」を追加します。</p>	6	<p>■関連公共インフラ整備の推進</p> <p>○木津川流域下水道洛南浄化センターにおいて、新たな水処理施設を増設します。</p>	<p>■関連公共インフラ整備の推進</p> <p>○<u>新たなまちづくりの進展に伴う汚水量に対応するため、木津川流域下水道洛南浄化センターにおいて、新たな水処理施設を増設します。</u></p>

番号	意見	意見に対する府の考え方	最終案 修正箇所	中間案の記載	最終案の記載
			頁		
4	<p>■まちづくりと整合のとれた道路整備の推進</p> <p>○高速道路ICアクセスとして新たに整備を進める道路については、～～担うものでもあるため、新たな市街地整備など計画的な土地利用を行うに際し、関係機関と連携して市町のまちづくり計画との整合を図るとともに、<u>地域の実情に照らした必要な支援を行います。</u></p>	<p>「～整合を図るとともに、市町のまちづくりに対して必要な支援を行います。」を追記します。</p>	6	<p>■まちづくりと整合のとれた道路整備の推進（国道24号城陽井手木津川バイパス、新名神高速道路宇治田原IC（仮称）周辺等の開発、（都）宇治田原山手線等の新市街地整備等）</p> <p>○高速道路ICアクセスとして新たに整備を進める道路については、既存道路の渋滞解消、災害時の安心・安全を確保するバイパスとしての役割や、大型商業施設の立地等沿道開発の可能性を飛躍的に高め地域産業の振興を担うものでもあるため、新たな市街地整備など計画的な土地利用を行うに際し、関係機関と連携して市町のまちづくり計画との整合を図ります。</p>	<p>■まちづくりと整合のとれた道路整備の推進（国道24号城陽井手木津川バイパス、新名神高速道路宇治田原IC（仮称）周辺等の開発、（都）宇治田原山手線等の新市街地整備等）</p> <p>○高速道路ICアクセスとして新たに整備を進める道路については、既存道路の渋滞解消、災害時の安心・安全を確保するバイパスとしての役割や、大型商業施設の立地等沿道開発の可能性を飛躍的に高め地域産業の振興を担うものでもあるため、新たな市街地整備など計画的な土地利用を行うに際し、関係機関と連携して市町のまちづくり計画との整合を図るとともに、<u>市町のまちづくりに対して必要な支援を行います。</u></p>
5	<p>■まちづくりと整合のとれた道路整備の推進</p> <p>○高速道路ICアクセスとして新たに整備を進める道路については、既存道路の渋滞解消、災害時の安心・安全を確保するバイパスとしての役割や、<u>企業立地・住宅等の沿道開発の可能性を飛躍的に高め～～関係機関と連携して市町のまちづくり計画との整合を図ります。</u></p>	<p>「大型商業施設の立地等」を「企業立地・住宅等の」に修正します。</p>	6	<p>■まちづくりと整合のとれた道路整備の推進（国道24号城陽井手木津川バイパス、新名神高速道路宇治田原IC（仮称）周辺等の開発、（都）宇治田原山手線等の新市街地整備等）</p> <p>○高速道路ICアクセスとして新たに整備を進める道路については、既存道路の渋滞解消、災害時の安心・安全を確保するバイパスとしての役割や、大型商業施設の立地等沿道開発の可能性を飛躍的に高め地域産業の振興を担うものでもあるため、新たな市街地整備など計画的な土地利用を行うに際し、関係機関と連携して市町のまちづくり計画との整合を図ります。</p>	<p>■まちづくりと整合のとれた道路整備の推進（国道24号城陽井手木津川バイパス、新名神高速道路宇治田原IC（仮称）周辺等の開発、（都）宇治田原山手線等の新市街地整備等）</p> <p>○高速道路ICアクセスとして新たに整備を進める道路については、既存道路の渋滞解消、災害時の安心・安全を確保するバイパスとしての役割や、<u>企業立地・住宅等の沿道開発の可能性を飛躍的に高め地域産業の振興を担うものでもあるため、新たな市街地整備など計画的な土地利用を行うに際し、関係機関と連携して市町のまちづくり計画との整合を図るとともに、市町のまちづくりに対して必要な支援を行います。</u></p>
6	<p>■けいはんな学研都市の新たな発展に向けた整備促進・機能強化</p> <p>2つめの○の「また、」以降は北陸新幹線の記述であるが、本項で北陸新幹線に関する記述がここのみである中で、内容が渋滞対策とネガティブなものであり、可能であれば削除いただくか、期待できる効果等を追記いただきたい。</p>	<p>「や渋滞対策の検討」を削除します。</p>	7	<p>■けいはんな学研都市の新たな発展に向けた整備促進・機能強化</p> <p>○関西国際空港からの交通アクセスや京奈和自動車道や新名神開通などの交通ネットワークの向上や地理的優位性を生かして、新たな事業用地の創出により、企業立地の促進、物流拠点の誘致・整備や新しい市街地の整備を推進します。また、北陸新幹線の延伸を見据え、木津川右岸エリアから新駅への東西交通の研究や渋滞対策の検討を行います。</p>	<p>■けいはんな学研都市の新たな発展に向けた整備促進・機能強化</p> <p>○関西国際空港からの交通アクセスや京奈和自動車道や新名神開通などの交通ネットワークの向上や地理的優位性を生かして、新たな事業用地の創出により、企業立地の促進、物流拠点の誘致・整備や新しい市街地の整備を推進します。また、北陸新幹線の延伸を見据え、木津川右岸エリアから新駅への東西交通の研究を行います。</p>
7	<p>■豊かな自然環境を活かした「きづ川アクティビティパーク」の構築による交流推進等</p> <p>「かわまちづくり事業」について、当町は和東町と連携し「河川のオープン化」に取り組んでおり、密接な関係にある。当町に対する支援についても記載いただきたい。</p>	<p>広域的に支援する旨修正します。</p>	8	<p>■豊かな自然環境を活かした「きづ川アクティビティパーク」の構築による交流推進等</p> <p>○和東町の国土交通省「かわまちづくり事業」による木津川の活用を支援し、市町村域を越えた賑わいづくりや昔栄えた舟運を想定した収益事業の創出を図ります。</p>	<p>■豊かな自然環境を活かした「きづ川アクティビティパーク」の構築による交流推進等</p> <p>○国土交通省の「かわまちづくり事業」等による木津川の活用を<u>広域的に</u>支援し、市町村域を越えた賑わいづくりや昔栄えた舟運を想定した収益事業の創出を図ります。</p>

番号	意見	意見に対する府の考え方	最終案 修正箇所	中間案の記載	最終案の記載
			頁		
8	<p>■空き家の有効活用など、移住定住のための環境づくりを支援</p> <p>相楽東部3町村の豊かな自然の中で様々な歴史・自然・アクティビティを体験できる環境を活かし、当地域ならではの教育プログラムを活かした山村留学に対する支援についても記載いただきたい。</p>	<p>「■空き家の有効活用など、移住定住のための環境づくりを支援」ではなく、「■農家民宿や民泊の活用による体験交流の促進や魅力ある特産品開発や食の周遊促進」の一部を修正します。</p>	8	<p>■農家民宿や民泊の活用による体験交流の促進や魅力ある特産品開発や食の周遊促進</p> <p>○修学旅行、教育体験旅行等の宿泊交流体験をワンストップで受け入れる「京都やましろ体験交流協議会」をサポートし、全国の多くの若者の関係人口拡大を促進します。</p>	<p>■農家民宿や民泊の活用による体験交流の促進や魅力ある特産品開発や食の周遊促進</p> <p>○歴史に育まれたお茶の文化や地域の豊かな自然環境を生かした教育体験等のプログラムの充実を図るとともに、修学体験旅行等の宿泊交流体験をワンストップで受け入れる「京都やましろ体験交流協議会」をサポートし、全国の多くの若者の関係人口拡大を促進します。</p>
9	<p>■関連公共インフラ整備の推進</p> <p>「○新たなまちづくりの進展に伴う汚水量に対応するため、木津川流域下水道洛南浄化センターにおいて、新たな水処理施設を増設します。」を追記できないか。</p> <p>本町の新市街地整備について、府基本計画16頁に明記され、山城計画においても、11頁に「その推進を支援」することとなっている。</p> <p>現在、洛南浄化センターの処理量は余裕が無く、本町のまちづくりを実現するためには、その機能強化をしていただくことが必須である。</p> <p>同様の状況となっている、「①木津川右岸」や「②けいはんな学研都市」には上記記載がある。</p> <p>本町では、前年度から京都府に対し同様の趣旨で要望をしているところ。</p>	<p>「○新たなまちづくりの進展に伴う汚水量に対応するため、木津川流域下水道洛南浄化センターにおいて、新たな水処理施設を増設します。」を追記します。</p>	10	<p>■関連公共インフラ整備の推進</p> <p>○市町が進めるまちづくりと連携し、生活道路の整備や渋滞対策を推進します。</p>	<p>■関連公共インフラ整備の推進</p> <p>○市町が進めるまちづくりと連携し、生活道路の整備や渋滞対策を推進します。</p> <p>○新たなまちづくりの進展に伴う汚水量に対応するため、木津川流域下水道洛南浄化センターにおいて、新たな水処理施設を増設します。</p>
10	<p>ア 防災・減災対策の強化 現状分析・課題</p> <p>4行目の「リダンダンシー」については、馴染みがない言葉なので注釈を追記した方がよい。</p>	<p>「(災害発生に備えた道路ネットワーク等の多重化)」という注釈を追記します。</p>	12	<p>ア 防災・減災対策の強化 現状分析・課題</p> <p>4行目 リダンダンシー</p>	<p>ア 防災・減災対策の強化 現状分析・課題</p> <p>4行目 リダンダンシー(災害発生に備えた道路ネットワーク等の多重化)</p>
11	<p>(3) ①安心して子育てできる環境づくり</p> <p>現状分析・課題</p> <p>さらに、地域の将来を支える子どもたちの育成のために、基本的な生活習慣や学習習慣の確立、コミュニケーション力の向上などが求められており、社会総がかりで、子どもを育てる環境づくりを進めるとともに、豊かな心、健やかな身体、質の高い学力をバランスよく育むための教育を進めていくことが重要です。</p>	<p>御意見を踏まえて修正します。</p>	15	<p>(3) ①安心して子育てできる環境づくり</p> <p>現状分析・課題</p> <p>さらに、地域の将来を支える子どもたちの育成のために、基本的な生活習慣や学習習慣の確立、コミュニケーション力の向上などが求められており、社会総がかりで子どもを育てる環境づくりを進めるとともに、質の高い学力、豊かな心、健やかな身体をバランスよく育むための教育を進めていくことが重要です。</p>	<p>(3) ①安心して子育てできる環境づくり</p> <p>現状分析・課題</p> <p>さらに、地域の将来を支える子どもたちの育成のために、基本的な生活習慣や学習習慣の確立、コミュニケーション力の向上などが求められており、社会総がかりで子どもを育てる環境づくりを進めるとともに、豊かな心、健やかな身体、質の高い学力をバランスよく育むための教育を進めていくことが重要です。</p>

番号	意見	意見に対する府の考え方	最終案 修正箇所	中間案の記載	最終案の記載
			頁		
12	<p>■子育て環境日本一の実現に向けた取組</p> <p>○「年中児スクリーニング（5歳児検診）」の実施及びその後の事後支援や、専門職チームによる支援など、保育士や対人援助者に対する支援者支援、親支援等の取組について、市町村と協働して充実を図ります。</p> <p>※対人援助に当たっている全ての人に支援者支援（スーパーバイザー・ピアサポーターなど）が必要になってきています。支援をする側に精神的負担が増えてきており、自ら病む人も出てきています。虐待の現場を担う児童相談者などは特に大変かと想像できます。行政の相談窓口や民間の担い手などに支援者のケアが必要だと感じています。</p>	御意見を踏まえて修正します。	16	<p>■子育て環境日本一の実現に向けた取組</p> <p>○「年中児スクリーニング（5歳児検診）」の実施及びその後の事後支援や、専門職チームによる支援など、保育士などの支援者支援、親支援等の取組について、市町村と協働して充実を図ります。</p>	<p>■子育て環境日本一の実現に向けた取組</p> <p>○「年中児スクリーニング（5歳児検診）」の実施及びその後の事後支援や、専門職チームによる支援など、保育士等の子育て支援者への支援や親支援の取組について、市町村と協働して充実を図ります。</p>
13	<p>■子育て環境日本一の実現に向けた取組</p> <p>子育てにやさしい企業や事業所の認定など「子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言」や、ワーク・ライフ・バランスを推進して男性も育児等に積極的に参加していくことについても記載してほしい。</p>	「■子育て環境日本一の実現に向けた取組」ではなく、「■男女共同参画の推進」の一部を修正します。	19	<p>■男女共同参画の推進</p> <p>○企業等における女性の活躍、働きがいがあり、働きやすい職場環境づくり、働き方改革や男性の家事、育児、介護、地域活動等をはじめ、家庭・地域・職場における男女共同参画の取組を支援します。</p>	<p>■男女共同参画の推進</p> <p>○「子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言」など、企業等における女性の活躍と、働きがいがあり、誰にとっても働きやすい職場環境づくりを推進します。さらに、働き方改革により男女ともにワーク・ライフ・バランスのとれた生活を推進し、男性も家事、育児、介護、地域活動等に積極的に参加できる男女共同参画の取組を支援します。</p>
14	<p>■男女共同参画の推進</p> <p>○企業等における女性の活躍、働きがいがあり、誰にとっても働きやすい職場環境づくりを推進します。</p> <p>○働き方改革により男女ともにワークライフバランスのとれた生活を推進します。男性も家事・育児・介護や地域活動などに積極的に参加できる男女共同参画社会の推進を目指します。</p> <p>※働き方改革で一番是正してほしいところは、男性の長時間労働です。家庭では父親を盾居に戻してほしいと切望しています。子どもと関わる時間や夫婦の時間、自分の時間を充実させてほしいです。派遣の人達の労働環境も見直してほしいです。</p>	御意見を踏まえて修正します。	19	<p>■男女共同参画の推進</p> <p>○企業等における女性の活躍、働きがいがあり、働きやすい職場環境づくり、働き方改革や男性の家事、育児、介護、地域活動等をはじめ、家庭・地域・職場における男女共同参画の取組を支援します。</p>	<p>■男女共同参画の推進</p> <p>○「子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言」など、企業等における女性の活躍と、働きがいがあり、誰にとっても働きやすい職場環境づくりを推進します。さらに、働き方改革により男女ともにワーク・ライフ・バランスのとれた生活を推進し、男性も家事、育児、介護、地域活動等に積極的に参加できる男女共同参画の取組を支援します。</p>

番号	意見	意見に対する府の考え方	最終案 修正箇所	中間案の記載	最終案の記載
			頁		
15	<p>情報インフラの地域格差も計画に書くべきではないか。 計画では細かい部分は書けないかもしれないが、是正について努力いただきたい。(要望)</p>	<p>御意見を踏まえて修正します。</p>	22	<p>■豊かな自然環境・地域資源や都市部との近接性を活用した新産業の育成 「相楽東部地域」(笠置町、和束町、南山城村) <「人」の誘致エリア></p> <p>○サテライトオフィスやコワーキングスペース等の活用によるICT関連等の起業家やスタートアップ企業の誘致・育成に取り組みます。</p> <p>【参考 総合計画中間案】 IoTの活用拡大に不可欠な5GやLPWA(低電力で広範囲の無線通信技術)のネットワーク整備を促進し、防災、農業、インフラ管理等、様々な分野での活用を進めます。</p>	<p>■豊かな自然環境・地域資源や都市部との近接性を活用した新産業の育成 「相楽東部地域」(笠置町、和束町、南山城村) <「人」の誘致エリア></p> <p>○情報インフラが整備されたサテライトオフィスやコワーキングスペース等の活用によるICT関連等の起業家やスタートアップ企業の誘致・育成に取り組みます。</p>
16	<p>農業の成長産業化のためには、高収益農業の展開、担い手の確保、担い手による規模拡大などが求められます。そして、そうしたことを可能にする基盤整備、とりわけ「ほ場整備」を実施した優良農地の確保も、併せて優先度の高い施策のひとつと思っています。</p> <p>そのため、ほ場整備実施率が低迷している山城地域の振興計画では、「担い手の規模拡大を可能とするほ場整備の検討を進めます。」と記載されており、大いに同感しております。ただ、検討を進めることが目的ではないので、もっと力強く「ほ場整備を推進します。」と記載すべきでないでしょうか。</p> <p>一方、山城地域では都市計画の見直しにより、ほ場整備で実施した優良農地ゾーンが大規模な開発ゾーンに改められる動きが出ています。ほ場整備を実施した優良農地を喉から手が出るほど欲しがっている若い担い手農家にとって大変悲しい動きです。農業の成長産業化に逆行する動きです。もちろん開発は大変大切ですので、決して開発を否定するものではありませんが、止むを得ずそうな場合は、少なくとも開発面積見合いについて、別途、未整備農地を積極的に「ほ場整備」して優良農地を確保していくというバランスのある施策が必要ではないでしょうか。</p> <p>頑張れと行政が応援している若い担い手農家に、冷や水を浴びせていることにならないように、こうした見地も考慮し、総合計画・振興計画をまとめていただけたらと思います。</p>	<p>ほ場整備は、担い手への農地集積や規模拡大等に必要農業基盤整備であり、その実施にあたっては、地域農業の将来プランである「京力農場プラン」に基づき、地域での話し合いによる合意形成が重要であることから、市町村等の関係者と連携しながら、ほ場整備をはじめとする農業基盤整備の実施について取組を進めていきたいと考えています。</p> <p>また、開発と農業振興に係る農業基盤整備との調和については、上記と同様、市町村等の関係者が連携しながら取組を進めていきたいと考えます。</p>	24	<p>■農業の基盤整備の推進とやましろ農林業の担い手確保・育成</p> <p>○担い手の規模拡大を可能とするほ場整備の検討を進めます。</p>	<p>■農業の基盤整備の推進とやましろ農林業の担い手確保・育成</p> <p>○担い手の規模拡大を可能とするほ場整備の実施に向けた取組を進めます。</p>
17	<p>27頁の「野生鳥獣の保護・管理」に家畜伝染病の記載がありますが、家畜伝染病は突発的な事象であり、対象も異なるので、「家畜伝染病対策」と「野生鳥獣・保護」は分けて別途項目を設けてはどうか。</p>	<p>表題を「野生鳥獣の保護・管理と家畜防疫への対応」とし、○の1つ目を一番最後に移し、○の2つ目の文言を、「鳥獣保護区の設定や個体数・生息域の調査など鳥獣の保護・管理の取組により、野生動物の多様性確保、生活環境の保全や農産物被害の防止を推進します。」と修正します。</p>	26	<p>■野生鳥獣の保護・管理</p> <p>○高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫、豚コレラ等の家畜伝染病を発生させないよう、日常から万全の衛生対策を講じるとともに、発生に備えてスターターチーム員による初動防疫に取り組みます。</p> <p>○鳥獣の保護・管理や、家畜伝染病への備えを図るための取組などにより、野生動物の多様性確保、生活環境の保全や農産物被害の防止を推進します。</p>	<p>■野生鳥獣の保護・管理と家畜防疫への対応</p> <p>○鳥獣保護区の設定や個体数・生息域の調査など鳥獣保護・管理の取組により、野生動物の多様性確保、生活環境の保全や農産物被害の防止を推進します。</p> <p>○高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫、豚コレラ等の家畜伝染病を発生させないよう、日常から万全の衛生対策を講じるとともに、発生に備えてスターターチーム員による初動防疫に取り組みます。</p>